

## 1 研究主題

## 自ら学びに向かい、ともに認め合い、高め合う子どもの育成 ～算数の楽しさが広がる授業づくりを通して～

## 2 研究の具体

- (1) 「分かる・できる」「楽しい」の2軸で子どもを見る
- (2) 教師の授業観を変える  
分かる・できるようにすることが楽しいにつながる「分かる授業」から、分かる・できるだけが楽しさではなく、多様な楽しさを見いだすことにつながる「楽しさが広がる授業」へ教師の意識を変えていく。
- (3) 「算数の楽しさ」を広げる  
「算数の楽しさ」を以下に示した、「本質志向」「達成志向」「関わり志向」の3つに分類し、児童がいろいろな算数の楽しさに気付いたり、実感したりすることができる授業づくりを目指す。

**本質志向**

- ・既習の内容を活用して新しい問題を解決する楽しさ
- ・学んだことを生活に生かす楽しさ
- ・数理を見いだしたり創り上げたりする楽しさ
- ・数学的に表現する楽しさ
- ・統合的・発展的に考える楽しさ

**達成志向**

- ・分かる楽しさ
- ・できる楽しさ

**関わり志向**

- ・認め合う楽しさ
- ・知る楽しさ
- ・考えを伝え合う楽しさ

**方策1 児童がいろいろな「算数の楽しさ」に出会うことができるように、単元で広がり期待できる算数の楽しさを明らかにし、活動・支援・評価の仕方を工夫した授業づくりをする。**

- (1) 単元を通して広げたい「算数の楽しさ」の明確化
- (2) いろいろな「算数の楽しさ」に出会う授業の工夫
  - ①学習への意欲を高める課題設定の工夫【学習課題をつかむ場面】
  - ②分かる楽しさ・できる楽しさを実感できる教材・教具や活動の工夫【学習課題を解決する場面】
  - ③協働しながら数理を創造する楽しさを実感できる場の工夫【学習課題を深める場面】
  - ④学んだことを生活や新たな問題へつなぐ工夫【まとめと振り返りをする場面】
- (3) 児童が自己の学びや成長に気付くことができる支援の工夫
  - ①振り返りの支援の工夫
    - ア 振り返りの観点 イ 振り返りワード
  - ②児童のよさや成長の見取りの工夫
    - ア まとめと振り返りの一体化 イ 単元後の振り返り



**方策2 自己の学び方のよさや学ぶ楽しさをより実感できるように、学ぶ楽しさが広がる授業を支える取組を工夫する。**

- (1) 学習習慣づくり
  - ①学習規律の確立 ②じぶんタイム、ドリルタイム ③ノート指導 ④自主学习パワーアップ週間
- (2) 人間関係づくり
  - ①なかよし班活動 ②学級活動 ③ナガオリンピック ④えがおいっぱい週間(人権学習)
- (3) 学びの環境の充実
  - ①学びコーナー ②算数図書コーナー ③算数クイズ ④算数ルーム

## 3 研究の検証及び改善の手立て

- ・ 昨年度7月と今年度7月に行った、学習についてのアンケートで児童の意識を比較したところ、16項目中、12項目で肯定的に回答した児童の割合が増えた。
- ・ 授業後の振り返りには、「～が分かった」「～をして楽しかった」だけでなく、本質、達成、関わりの3つの志向に関する内容が具体的な言葉として多く見られるようになった。
- ・ 研究で明らかになったことを継続して取り組んだり、算数科だけでなく、他教科にも広げたりしていく。